

快適な室内環境を保ちながら、高断熱化・日射遮蔽、自然エネルギー利用、高効率設備により、できる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、年間で消費する建築物のエネルギー量が大幅に削減されている建築物。

ZEB の定義・評価方法

ZEB では 3 つの基準を基に評価する。

- (1) ZEB Ready** 省エネ基準 (BEI=1.00) よりも 50% 以上の省エネルギー化を達成した建築物。
※但し、再生可能エネルギーによる削減量は考慮しない。
- (2) Nearly ZEB** ZEB Ready を満たした上で、太陽光発電等によりエネルギーを創る事により、正味で 75% 以上の省エネルギー化を達成した建築物。
- (3) ZEB** 正味で 100% 以上の省エネルギー化を達成した建築物。
ZEB Ready における省エネ率は設計段階で評価される為、建築計画的な手法 (パッシブ手法) を最大限に活用しつつ、長寿命かつ回収が困難な建築外皮を高度化した上で、設備の効率化 (アクティブ技術) を重ね合わせることで、省エネルギー化を図ることが重要となる。

ZEB の計算方法

省エネルギー計算と同様に、国立研究開発法人 建築研究所ホームページより公表されている「計算支援プログラム」を使用します。計算方法については、より詳細な建築物のエネルギー量等を求める必要がある為、標準入力法での計算となります。

弊社では、省エネルギー計算及び申請後の質疑対応をさせて頂いております。

但し、ZEB 申請における申請書類の作成につきましては、大変お手数ではございますが、お客様の方で作成をお願いしております。

また、ZEB でも省エネ計算と同様の評価方法のため、計算に必要な図面については、「施設の省エネ計算に必要な図面リスト」をご参照ください。